

平成29年2月11日(土・祝)

平成28年度 第11回司法書士人権フォーラム

「いきるを支える  
～依存症と向き合おう！！回復までの道のり～」  
を開催いたします

日本司法書士会連合会

依存症については、非日常的なことで自分には関わりのない問題であると思われがちです。しかし、女性のアルコール依存、若年層のゲーム・ネット依存、買い物依存、中高年の薬物依存等、これまでの依存症のイメージと違う状況がみられるようになるにつれ、誰もが陥るおそれのある身近な問題として、その対策が求められています。

特にその中でも、アルコール依存症の問題は、依存状態が容認されやすく病気として認識されにくいこと、内蔵等の身体的疾患への影響が大きいこと、様々な統計調査で自殺との関係性が高いとされていること等から、日常に潜む命にかかわる問題といえます。

そこで、本年度のフォーラムでは、アルコールを中心とした依存症の問題を取り上げます。

【開催概要】

\*日時 平成29年2月11日(土・祝) 13:00～17:05 (12:30開場)

\*会場 司法書士会館地下1階「日司連ホール」(東京都新宿区本塩町9-3)

\*定員 180名

\*対象 どなたでもご参加いただけます。

\*参加費 無料

\*主催 日本司法書士会連合会

\*後援 厚生労働省、法務省、(国研)国立精神・神経医療研究センター、  
全国精神保健福祉センター長会、(公社)日本精神神経科診療所協会、  
(公社)日本精神保健福祉士協会、(一社)日本うつ病センター、日本弁護士連合会、  
日本司法支援センター、東京都、新宿区、(公社)成年後見センター・リーガルサポート

\*プログラム及び登壇者(予定・敬称略)

第1部 基調講演「アルコール依存症の正体とは？」(60分)

松本俊彦((国研)国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長)

第2部 アルコール依存症の回復者・家族からの報告(20分)

第3部 パネルディスカッション「あきらめない！アルコール依存症からの回復を目指して」(140分)

パネリスト

松本俊彦((国研)国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長)

小泉典章(長野県精神保健福祉センター 所長) 岡田昌之(ジャパンマック福岡 施設長)

濱田なぎさ(日司連市民の権利擁護推進室 自死問題対策部会室委員)

コーディネーター

長田弘子(日司連市民の権利擁護推進室 自死問題対策部会部会長)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日本司法書士会連合会 担当：上田(うえだ)、白洲(しらす)、井出(いで)

TEL: 03-3359-4171 FAX: 03-3359-4175

<住所> 〒160-0003 東京都新宿区本塩町9-3 司法書士会館

<HP> <http://www.shiho-shoshi.or.jp/>